創世記

創世記全体のテーマと流れ

天地創造	人類の罪	ノアの洪水	諸国民と言語の始まり	アブラハムの家族	ヨセフ、イスラエルの民
1章ー2章	3章ー4章	５章ー９章	10章ー11章	12章ー38章	39章ー50章

登場人物：アダム、イブ、ノア、アブラハム、イサク、ヤコブ、ヨセフ
(▶覚え方、アノ～、アブラ～イヤヨ)

49章のポイント

49章では、ヤコブの死が記録されています。ヤコブは死を前にして、12人の息子たちに祝福と人生の評価を語っています。ある子供には祝福というよりは呪いにも近い人生の評価を語り、ある子供には将来起こるであろう出来事や住むことになるであろう地についての言及がなされています。またある子供には目一杯の祝福の言葉を語りかけています。ヤコブは父として、子供達の生き方をよく見ていました。

しかし、ヤコブが子供達の生き方を見ている姿よりも、もっと子供達をご存知であり、私を知っておられるお方がおられます。それは創造主です。創造主は私たち一人一人の生き方・性格をよくご存知です。それを知った上で、私たちの人生に様々な出来事を起こしてくださいます。それは私たちの人生に計画をお持ちだからです。私たちの人生に起こってくる様々な出来事の裏にある創造主の深い御心に心を向けて生きていきましょう。

学びましょう

1．50章1節～26節を読んでみましょう。

2．50章1節～26節のポイントを把握してみましょう。

(1)カナンの地に葬られるヤコブ

父ヤコブは死を迎え、40日間かかってミイラにされました。その後、喪の期間が終わると、父の遺言に従ってヨセフ達はカナンの地へ向かいます。なぜ父ヤコブはカナンの地に葬られることを強く望んだのでしょうか。それは先祖が葬られた土地である故もありましたが、カナンが創造主から与えられた約束の地であったからです。ヤコブは約束の地に対する強い思いがありました。

私達にも、やがて行く約束の地があります。それは天の御国です。イエス様を救い主として受け入れる者へ与えられる約束の場所です。そこに希望があります。私達もやがて行く約束の地への望みを胸に、人生を歩んで参りましょう。

(2)赦しの再確認

父ヤコブの葬儀が終わり、エジプトに戻ったヨセフとその兄弟に一つの出来事が起こりました。ヨセフの兄弟達の心を、ある思いが支配したのです。父ヤコブの死をきっかけにヨセフが兄弟達への恨みを晴らすのではないかという恐怖です。それを抑えようと16節で父が語ってもいない偽りの言葉を語り、ヨセフの心を宥めようとしました。ヨセフはその言葉を聞いて涙を流します。父ヤコブを失い悲しみと寂しさの中で、未だに兄弟達が自分を恐れていると知ったヨセフはどれほど傷ついたでしょうか。この世界に自分の味方は誰もいない、自分を本当に理解してくれる人は一人もいない空虚感に襲われたのではないでしょうか。19節で、ヨセフは「恐れることはありません」と再度語りながら、創造主が全ての計画を成してくださっているという彼の信仰を再度、告白します。17歳で奴隷として売られ、30歳で国務長官になった事、20数年間、父とも離れてしまっていた彼の人生でしたが、それでもヨセフは創造主を中心に人生をとらえていました。

22節からはヨセフの死を聖書は記録しています。父ヤコブの葬儀から約50年。ヨセフは110歳になっていました。自分の子供エフライムの３代の子孫まで見る事ができ、マナセの子供達を膝にのせるほどの祝福がありました。ヨセフがここまで祝福された人生を送ることができたのは、彼の中心にあった「創造主の視線で人生を見る」「創造主の立場で人生を理解してみる」と

いう姿でした。この態度は、人生に様々な事が起こっても、創造主に対する不平不満よりは創造主に対する信頼と感謝を湧き起こしました。

分かち合いましょう

父ヤコブが約束の地に戻ることを渇望していたように、私達もやがて行く天の御国に対する渇望や期待などがあるでしょうか。その渇望や期待は、この地上での歩みにどのように現れているでしょうか。

ヨセフは兄弟が自分を完全に理解してくれていない現実にぶつかった時でも、創造主の摂理と主権から自分の人生を考えている姿がありました。私達も人生に起こったことを人間の側だけ、世の中の常識だけで考え理解していると不平不満を吐露するしかない人間になってしまいます。全ての出来事を創造主の視点で理解し、創造主に信頼する態度で歩むむ時に祝福された人生を送る事ができます。

1．教会と記念館の為

（1)ビジョン達成のために　①**「創造をベースに、99%へ福音を」**という教会のビジョンが、創造主によって祝福されますように。**②2021年度ビジョン**「創造主を信じ、その大能の力によって強くして頂きなさい」の実現の為に。ｸﾘｽﾁｬﾝ一人一人が、主に繋がり、主に強められるように。

（2）教会のため　①教会の本質的な働き一礼拝と伝道の働きの為　②教会の共同体の関係祝福のために③教会の霊的成長・成熟のために　④地域との関係　⑤ユースの学び会の為に

（3）ノアの箱船記念館のため　①ノアの箱船記念館が伝道のために、クリスチャンの信仰形成の為に用いられます様。②ノアの箱船記念館の財政の祝福、ノアの歩道の為

（4）教役者のために①堀越葉満主事のため　②宮崎聖牧師家庭のため

2．教会員の方々の為に

（1）病にある方々の為に・平安があります様に

（2）教会からしばらく離れている方の為

（3）今月の祈祷課題の方々のために

3．伝道と宣教の為

（1)洗礼準備・聖書の学びをされている方々のため

（2）受洗後の学びをされている

（3）伴侶の救いの為

（4）伝道のためのグループ(感染から守られる様に)

①レプトン　②ゴスペル・フラ　③卓レシア　④女性集会
⑤創愛クラブ　⑥クラフトカフェ　⑦ノア・パーク

（5）ロゴス・ホープ号乗船